

科学技術に関する調査プロジェクト報告書を刊行しました 『自動運転技術の動向と課題』 国立国会図書館ホームページから全文を読むことができます

国立国会図書館調査及び立法考査局は、平成22年度から、科学技術政策上の重要課題を外部の専門家と連携して調査するプロジェクトを実施しています。

この度、平成29年度の科学技術に関する調査プロジェクト報告書『自動運転技術の動向と課題』を刊行しました。自動運転に関する基礎的情報からその普及に向けた論点・課題まで幅広く調査し、裏付けのある正確な情報を基に、客観性・中立性に配慮しつつ、できる限り分かりやすい表現で、その成果を取りまとめています。自動運転技術の課題を理解する一助として是非ご活用ください。

■ 報告書の内容

『自動運転技術の動向と課題』（調査資料2017-4）

人工知能（Artificial Intelligence: AI）やセンサー技術の急速な進化に伴い、自動運転車の実用化が現実性を帯びてきています。自動運転車が実用化されることによって、交通事故の低減、高齢者等移動弱者の移動支援、輸送業務における人手不足の解消などが期待されています。しかし他方で、自動走行機能の誤作動、事故発生時の原因究明や責任の所在などに対する懸念も払拭されておらず、自動運転車の社会的な受容のために解決すべき課題となっています。本報告書は、自動運転に関する基礎的情報、自動運転車の開発状況等を確認するとともに、法的・社会的・倫理的な課題を考察しています。

■ 入手方法

報告書は国会議員、都道府県立図書館等に配付します。

また国立国会図書館のホームページにPDFファイルを掲載しています。

（トップページ>国会関連情報>『調査資料』>2018年刊行分）

URL: <http://www.ndl.go.jp/jp/diet/publication/document/2018/index.html>

■ お問い合わせ先

国立国会図書館 総務部総務課広報係 電話：03-3506-5103（直通）

* 報道関係者には報告書1部をご提供します。ご希望の方はお問い合わせください。



(参考)『自動運転技術の動向と課題』(調査資料 2017-4) 目次

■はじめに

第 I 部 自動運転技術をめぐる動向

- 自動運転技術の可能性と受容に向けた取組
- 自動運転における AI 活用の課題
- (コラム 1) レーダーと GPS
 - 自動運転で用いられる軍事分野で発展した技術等—
- 自動運転車をめぐる産業の動向
- (コラム 2) 軍事分野における無人機の利用動向
- 科学技術イノベーション政策と標準化

第 II 部 法的・社会的論点

- 自動運転の論点
 - 倫理的、社会的観点から—
- 自動運転をめぐる道路交通法上の課題
- 自動運転による事故への法的対応
 - 民事責任と刑事責任は変容すべきか?—

(参考) 調査及び立法考査局の「立法調査サービス」

国会議員からの依頼に基づき、政治、経済、社会、文化、科学技術等広範な分野の国政課題について、事実確認のための調査から、論点整理、分析・評価まで、多岐にわたる調査を行います。また、現在・将来の国政課題について調査した成果を論文などにまとめ、国会議員に提供しているほか、インターネット上で公開しています。